

『実証分析のための計量経済学』 訂正情報

【第4～5刷】

ページ	修正箇所	誤	正
p. 107	下から3行目	(1)式の線形確率モデルとの違いは	(1)式の線形確率モデルとの主な違いは
p. 107	下から1行目	$Pr(Y_i = 1) = F(a + bX_i + u_i)$	$Pr(Y_i = 1) = F(a + bX_i)$

【第6～7刷】

p.11 図表1-4 消費関数の推定に利用するデータ			
都道府県	性別	所得	支出
北海道	男性	227	155
青森県	男性	234	175
岩手県	男性	193	206
宮城県	男性	204	160
秋田県	男性	208	123
山形県	男性	302	155
⋮	⋮	⋮	⋮
(中略)	(中略)	(中略)	(中略)
⋮	⋮	⋮	⋮
佐賀県	男性	239	144
長崎県	男性	237	204
熊本県	男性	278	194
大分県	男性	276	193
宮崎県	男性	272	191
鹿児島県	男性	169	129
沖縄県	男性	214	138
北海道	女性	207	173
青森県	女性	169	143
岩手県	女性	246	228
宮城県	女性	224	204
秋田県	女性	159	165
山形県	女性	221	141
⋮	⋮	⋮	⋮
(中略)	(中略)	(中略)	(中略)
⋮	⋮	⋮	⋮
佐賀県	女性	185	173
長崎県	女性	186	167
熊本県	女性	181	181
大分県	女性	170	141
宮崎県	女性	236	201
鹿児島県	女性	173	169
沖縄県	女性	145	140

【第8刷】

ページ	修正箇所	誤	正
p.16	上から7行目 (点線の枠内)	消費 = 76.68 +	消費 = 78.68 +
p.17	上から14行目	$t$ 値は4.86=(76.68÷16.19)	$t$ 値は4.86=(78.68÷16.19)
p.36	下から6行目	$t$ 値は2.6	$t$ 値は9.1
p.49	図表3-6の 下から2行目	自由度修正済決定係数 (4,569 4,569 2,638 2,638)	自由度修正済決定係数 (0.288 0.289 0.163 0.099)
p.49	図表3-6の 下から1行目	サンプルサイズ (0.288 0.289 0.163 0.099)	サンプルサイズ (4,569 4,569 2,638 2,638)
p.87	下から7行目	説明変数も被説明変数の	被説明変数も説明変数の
p.102	図表6-2の注	標準誤差	$t$ 値
p.102	図表6-2	降水量の星印 1個(0.0002*)	降水量の星印 2個(0.0002**)

## 【第9刷】

ページ	修正箇所	誤	正
p.28	図表2-2の 下から2行目	自由度修正済決定係数 0.37	自由度修正済決定係数 0.32
p.36	上から3行目	中卒は6年, 高卒は9年, 短大卒は11年, 大卒は13年	中卒は9年, 高卒は12年, 短大卒は14年, 大卒は16年
p.78	下から3行目	標準誤差は	分散は
p.83	上から6行目	$\sigma_1^2$	$\sigma^2$
p.121	上から7行目	プロビットモデル $\Pr(Y_i=1)=F(a+bX_i+u_i)$	プロビットモデル $\Pr(Y_i=1)=F(a+bX_i)$
p.149	図表9-2タイトル	トービットモデル	ヘーキットモデル



